

✿ 子どもへの説明

更新・確認日：2014年04月22日 [[履歴](#)]

履歴

2014年04月22日 2013年6月発行の冊子とがん情報サービスの情報を再編集し、掲載しました。

[閉じる](#)

お子さんが小さい場合は、治療や療養のことについて、ご家族が判断や決定をすることが多いかもしれません。しかし、お子さん自身が自分のことを理解し納得していることはとても重要です。

お子さんに病気のことを説明することを「インフォームドアセント」と言います。

いつごろ、何を、どのように、どのタイミングで説明するかは、お子さん年齢や病状などによって異なります。ご家族と医療スタッフ（医師・看護師）で、十分に相談しながら決めていきます。小さい子どもにもわかりやすい言葉で病気を説明している絵本や教材などもあります。担当医や看護師に聞いてみるとよいでしょう。

お子さんに説明するときが一番大切なのは、「うそをつかない」ことです。楽観的に話したり逆に過度に悲観的に話したりすると、かえってお子さんが混乱する原因になります。話す人によって伝える内容が違つと、信頼関係が揺らいでしまいます。

お子さん自身の意思を尊重しながら、わかりやすく説明することで、病気に立ち向かう力を引き出し、納得して治療に臨めると考えられています。

[🏠 子どものケア へ戻る](#)

関連情報

[がん情報サービス](#) [生活・療養](#) [ganjoho.jp](#)

よりよい情報提供を行うために、アンケートへの協力をお願いいたします。

[📄 アンケートページへ](#)